

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2009-193254(P2009-193254A)

【公開日】平成21年8月27日(2009.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2009-034

【出願番号】特願2008-32267(P2008-32267)

【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 2 0 0 E

G 0 6 T 1/00 2 0 0 C

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/42 F

G 0 6 F 3/12 V

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月14日(2011.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力された画像を構成するオブジェクトを分離する分離手段と、
前記分離手段にて分離されたオブジェクトに対して、前記オブジェクトが入力された際に適用された圧縮係数または、前記オブジェクトが入力された際の入力形式または、前記分離手段により分離されたときの前記オブジェクトの複雑度または、前記オブジェクトが入力された際の原稿モードの設定のうち少なくとも一つを判定し、該判定の結果を用いて、前記オブジェクトをオブジェクトとして保存するか否かを判定する判定手段と、
ユーザからインターフェースを介したアクセスがあったときに、再利用が可能なオブジェクトを表示すべく、前記判定手段によりオブジェクトとして保存すると判定されたオブジェクトを保存する保存手段と

を備えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 の画像処理装置において、

前記分離されたオブジェクトは前記判定手段によりオブジェクトとして保存すると判定されると、オブジェクトが写真又は背景の場合には圧縮処理が行われ、オブジェクトがグラフィックスの場合にはベクトル化処理が行われ、オブジェクトが文字の場合には該ベクトル化処理または文字認識処理が行われることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 3】

入力された画像を構成するオブジェクトを分離する分離ステップと、
前記分離ステップにて分離されたオブジェクトに対して、前記オブジェクトが入力された際に適用された圧縮係数または、前記オブジェクトが入力された際の入力形式または、前記分離ステップにより分離されたときの前記オブジェクトの複雑度または、前記オブジ

エクトが入力された際の原稿モードの設定のうち少なくとも一つを判定し、該判定の結果を用いて、前記オブジェクトをオブジェクトとして保存するか否かを判定する判定ステップと、

ユーザからインターフェースを介したアクセスがあったときに、再利用が可能なオブジェクトを表示すべく、前記判定ステップによりオブジェクトとして保存すると判定されたオブジェクトを保存する保存ステップと

を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 4】

請求項 3 の画像処理方法において、

前記分離されたオブジェクトは前記判定ステップにてオブジェクトとして保存すると判定されると、オブジェクトが写真又は背景の場合には圧縮処理が行われ、オブジェクトがグラフィックスの場合にはベクトル化処理が行われ、オブジェクトが文字の場合には該ベクトル化処理または文字認識処理が行われることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 5】

コンピュータに、

入力された画像を構成するオブジェクトを分離する分離ステップと、

前記分離ステップにて分離されたオブジェクトに対して、前記オブジェクトが入力された際に適用された圧縮係数または、前記オブジェクトが入力された際の入力形式または、前記分離ステップにより分離されたときの前記オブジェクトの複雑度または、前記オブジェクトが入力された際の原稿モードの設定のうち少なくとも一つを判定し、該判定の結果を用いて、前記オブジェクトをオブジェクトとして保存するか否かを判定する判定ステップと、

ユーザからインターフェースを介したアクセスがあったときに、再利用が可能なオブジェクトを表示すべく、前記判定ステップによりオブジェクトとして保存すると判定されたオブジェクトを保存する保存ステップと

を実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 6】

コンピュータがプログラムコードを読み取り可能に記憶した記憶媒体であって、該プログラムコードが、該コンピュータに、

入力された画像を構成するオブジェクトを分離する分離ステップと、

前記分離ステップにて分離されたオブジェクトに対して、前記オブジェクトが入力された際に適用された圧縮係数または、前記オブジェクトが入力された際の入力形式または、前記分離ステップにより分離されたときの前記オブジェクトの複雑度または、前記オブジェクトが入力された際の原稿モードの設定のうち少なくとも一つを判定し、該判定の結果を用いて、前記オブジェクトをオブジェクトとして保存するか否かを判定する判定ステップと、

ユーザからインターフェースを介したアクセスがあったときに、再利用が可能なオブジェクトを表示すべく、前記判定ステップによりオブジェクトとして保存すると判定されたオブジェクトを保存する保存ステップと

を実行させることを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記課題を解決するための本発明の一態様は、画像処理装置であって、入力された画像を構成するオブジェクトを分離する分離手段と、前記分離手段にて分離されたオブジェクトに対して、前記オブジェクトが入力された際に適用された圧縮係数または、前記オブジェクトが入力された際の入力形式または、前記分離手段により分離されたときの前記オブ

ジェクトの複雑度または、前記オブジェクトが入力された際の原稿モードの設定のうち少なくとも一つを判定し、該判定の結果を用いて、前記オブジェクトをオブジェクトとして保存するか否かを判定する判定手段と、ユーザからインターフェースを介したアクセスがあったときに、再利用が可能なオブジェクトを表示すべく、前記判定手段によりオブジェクトとして保存すると判定されたオブジェクトを保存する保存手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

上記課題を解決するための本発明の別の態様は、画像処理方法であって、入力された画像を構成するオブジェクトを分離する分離ステップと、前記分離ステップにて分離されたオブジェクトに対して、前記オブジェクトが入力された際に適用された圧縮係数または、前記オブジェクトが入力された際の入力形式または、前記分離ステップにより分離されたときの前記オブジェクトの複雑度または、前記オブジェクトが入力された際の原稿モードの設定のうち少なくとも一つを判定し、該判定の結果を用いて、前記オブジェクトをオブジェクトとして保存するか否かを判定する判定ステップと、ユーザからインターフェースを介したアクセスがあったときに、再利用が可能なオブジェクトを表示すべく、前記判定ステップによりオブジェクトとして保存すると判定されたオブジェクトを保存する保存ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

上記課題を解決するための本発明の別の態様は、プログラムであって、コンピュータに、入力された画像を構成するオブジェクトを分離する分離ステップと、前記分離ステップにて分離されたオブジェクトに対して、前記オブジェクトが入力された際に適用された圧縮係数または、前記オブジェクトが入力された際の入力形式または、前記分離ステップにより分離されたときの前記オブジェクトの複雑度または、前記オブジェクトが入力された際の原稿モードの設定のうち少なくとも一つを判定し、該判定の結果を用いて、前記オブジェクトをオブジェクトとして保存するか否かを判定する判定ステップと、ユーザからインターフェースを介したアクセスがあったときに、再利用が可能なオブジェクトを表示すべく、前記判定ステップによりオブジェクトとして保存すると判定されたオブジェクトを保存する保存ステップとを実行させることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

上記課題を解決するための本発明の別の態様は、コンピュータがプログラムコードを読み取り可能に記憶した記憶媒体であって、該プログラムコードが、該コンピュータに、入力された画像を構成するオブジェクトを分離する分離ステップと、前記分離ステップにて分離されたオブジェクトに対して、前記オブジェクトが入力された際に適用された圧縮係数または、前記オブジェクトが入力された際の入力形式または、前記分離ステップにより分離されたときの前記オブジェクトの複雑度または、前記オブジェクトが入力された際の

原稿モードの設定のうち少なくとも一つを判定し、該判定の結果を用いて、前記オブジェクトをオブジェクトとして保存するか否かを判定する判定ステップと、ユーザからインターフェースを介したアクセスがあったときに、再利用が可能なオブジェクトを表示すべく、前記判定ステップによりオブジェクトとして保存すると判定されたオブジェクトを保存する保存ステップとを実行させることを特徴とする。